

令和5年度 あさぎり町議会第8回会議会議録（第16号）						
招集年月日	令和5年10月20日					
招集の場所	あさぎり町議会議場					
開閉会日時 及び宣告	開議	令和5年10月20日 午前10時30分			議長	森岡 勉
	散会	令和5年10月20日 午前11時07分			議長	森岡 勉
応（不応）招議員 及び出席並びに 欠席議員 出席 13名 欠席 0名 ○出席 △欠席 ×不応招	議席番号	氏名	出欠等の別	議席番号	氏名	出欠等の別
	1	小谷 節雄	○	8	豊永 喜一	○
	2	岩本 恭典	○	9	山口 和幸	○
	3	難波 文美	○	10	永井 英治	○
	4	加賀山 瑞津子	○	11	皆越 てる子	○
	5	橋本 誠	○	12	小見田 和行	○
	6	小出 高明	○	13	溝口 峰男	○
	7			14	森岡 勉	○
議事録署名議員	10番 永井 英治 11番 皆越 てる子					
出席した議会書記	事務局長 山本 祐二 事務局書記 早川 幹					
地方自治法第121 条により説明のた め出席した者の職 氏名 出席 ○ 欠席 ×	職名	氏名	出欠等の別	職名	氏名	出欠等の別
	町長	北口 俊朗	○			
	デジタル政策 審議監	中野 裕登	○			
	総務課長	山内 悟	○			
	企画政策 課長	荒川 誠一	○			
	財政課長	伊津野 博子	○			
	町民課長	中竹 健次	○			
議事日程	別紙のとおり					
会議に付した事件	別紙のとおり					

議事日程（第16号）

- 日程第 1 会議録署名議員の指名について
日程第 2 議案第32号 令和5年度あさぎり町一般会計補正予算（第7号）について
-

本日の会議に付した事件

- 日程第 1 会議録署名議員の指名について
日程第 2 議案第32号 令和5年度あさぎり町一般会計補正予算（第7号）について
-

午前10時30分 開 会

- 議会事務局長（山本 祐二君） 御起立ください。礼。着席ください。
- ◎議長（森岡 勉君） ただいまの出席議員は13人です。定足数に達していますので、令和5年度あさぎり町議会第8回会議を開会します。これから本日の会議を開きます。本日の議事日程は御手元に配付のとおりです。
- ◎議長（森岡 勉君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。本会議の会議録署名議員は会議規則第124条の規定によって、10番永井英治議員、11番皆越てる子議員を指名します。
- ◎議長（森岡 勉君） 日程第2、議案第32号令和5年度あさぎり町一般会計補正予算第7号についてを議題とします。提案の理由の説明を求めます。町長。
- 町長（北口 俊朗君） おはようございます。本日よりよろしくお願いいたします。議案第32号令和5年度あさぎり町一般会計補正予算第7号について提案いたします。提案理由を申し上げます。令和5年度あさぎり町の一般会計補正予算第7号は次に定めるところによる。歳入歳出予算の補正、第1条歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億23万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ134億9,958万2,000円とするものでございます。詳細につきましては、担当課長より説明申し上げます。どうか審議の上、可決いただきますようよろしくお願いいたします。
- ◎議長（森岡 勉君） 伊津野財政課長。
- 財政課長（伊津野 博子さん） はい、議案第32号について御説明申し上げます。2ページの続きを読み上げます。第2項歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、第1表歳入歳出予算補正による。7ページをお願いします。歳入でございます。目1地方交付税の普通交付税の増額につきましては、今回の補正の財源調整によるものです。以上で、財政課所管分の説明を終わります。
- ◎議長（森岡 勉君） 荒川企画政策課長。
- 企画政策課長（荒川 誠一君） それでは、企画政策課所管分について説明いたします。7ページをお願いいたします。歳入になります。2枠目、目1総務費国庫補助金、説明の地域脱炭素移行再エネ推進交付金は、令和4年度あさぎり町再エネ導入戦略を策定後、環境省が公募する第3回脱炭素先行地域に応募し、令和5年4月28日に選定をされております。事業につきましては、民間事業者が主体となり太陽光パネル及び蓄電池の設置を行うもので、その際の事業費に対しまして、国から補助金を交付していただくものになります。次のページをお願いいたします。歳出

になります。1 枠目、目 7 企画振興費、説明の地域脱炭素推進補助金は、歳入で説明いたしました事業としまして、太陽光パネル 6 件、蓄電池 5 件の設置を計画しておりますので、その事業費に対し、国からの補助金を間接補助としまして交付するものでございます。以上で、企画政策課所管分の説明を終わります。

◎議長（森岡 勉君） 中竹町民課長。

●町民課長（中竹 健次君） はい。町民課所管分を説明いたします。歳出です。8 ページをお願いいたします。2 枠目、目 1 戸籍住民基本台帳費、節 1 報酬、節 4 共済費、節 8 旅費は、職員の産休に伴う会計年度任用職員雇用に関わる令和 6 年 1 月から 3 月までの人件費 3 か月分となります。以上で、町民課所管分の説明を終わります。

◎議長（森岡 勉君） 山内総務課長。

●総務課長（山内 悟君） はい。それでは総務課より今回の補正における給与費明細の説明を申し上げます。9 ページをお願いいたします。今回は、特別職の補正はございません。次に一般職の給与費について説明いたします。10 ページをお願いいたします。一般職におきましては会計年度任用職員分として町民課の会計年度任用職員の報酬等を補正しております。今回の補正の総額は、各表の比較の欄に示すとおりであり補正による補正後補正前の額は、格段のとおりでございます。以上で給与費明細についての説明を終わります。

◎議長（森岡 勉君） 提案理由の説明が終わりましたのでこれから質疑を行います。質疑ありませんか。12 番、小見田議員。

○議員（12 番 小見田 和行君） 12 番小見田です。1 点質問いたします。太陽光パネル及び蓄電池を設置するに当たりまして、戸建住宅等の事前調査をなされるようになっておりますけど、この際住宅の耐震とかの日当たりなどの調査と項目がございまして、やはり国の間接補助金を交付する以上は、やはり対象者となるころはですね、やはり税の滞納とかあってはいけないものと、従前のいろいろ補助金の交付についてもそういうのでございますので、今回のこの太陽光パネルの設置及び蓄電池の設置についても、その辺については一つ事前調査の中の項目に入るのかどうか、これについて伺いたいと思います。

◎議長（森岡 勉君） 荒川企画政策課長。

●企画政策課長（荒川 誠一君） はい、ただいまの御質問にお答えいたします。その点につきましてもですね、ほかの交付金と同様ですね、滞納その辺りの調査をさせていただきたいと思っております。ですので申請に基づきます要領、その辺りを作成いたしまして、きちんとですね、その辺りの調査をさせていただくというふうに考えているところでございます。

◎議長（森岡 勉君） よろしいですか。ほかに質疑ありませんか。11 番、皆越議員。

○議員（11 番 皆越 てる子さん） はい。11 番皆越です。あさぎりのですね、この令和 4 年の 2022 年のですね、3 月号のあさぎりではですね、2050 年脱炭素社会に向かってというようにあさぎりの広報紙に書かれております。で、ゼロカーボンシティー宣言をですね、前町長がされておられます。で、次にですね、このあさぎりのですね、中学生議会においてもこういうゼロカーボンについて質問されておられます。で、前町長はですね、課の連携といたしまして農林部門では 2020 年 1 月に行ったゼロカーボン宣言の実現に向けて省エネ導入計画の策

定に取り組みますというようなことで、荒廃農地などのクヌギの植林を行いCO₂を吸収するとともにバイオ炭として有機農業の活用を目指しますというようなことで、前町長はここに掲げておられます。4月号ですね、このあさぎりのこの6月号ですけども、それにはですね、町が提案した計画概要というようなことで、前町長がですね、この提案を町民に掲げておられます。そこでですね、主題としては、農業、畜産業の力をフル活用した農村地域脱炭素モデル。対象エリアは、岡原地区と深田地区。対象施設は、農業、畜産業を政策的に支える農政策、農政施設と主な再生エネルギーの農家住宅とか民間施設、公共施設というようなことで掲げておられます。で、先のですね、全協の説明では対象エリアを岡原、深田地区ということでございましたけども、全地区に拡大するようなお話でございましたがその確認をさせていただきます。

◎議長（森岡 勉君） 町長。

●町長（北口 俊朗君） はい。今回の提案につきましては、モデル地域設定ということで提案が認定されたという状況ではございますけれども、ただやはりあさぎり町全体に波及する事業にならないと意味がないと思っておりますので、やはり今回モデル地域で試行してみたいですね、そしてそれと同時期に合わせて町内全域に広げていきたいというふうには考えております。ですから、モデル地域に指定されたのでその地域だけ得するということがないようには努めていきたいと思えます。

◎議長（森岡 勉君） 11番、皆越議員。

○議員（11番 皆越 てる子さん） はい、分かりました。私もですね、岡原、深田地区じゃないんですけども私もつけたいんですけど、どういたしましょうか、というような御相談がございましたので、私もしっかり説明を聞いて納得していくなればというようなことでいろいろ会議も持っていただきました。その中でエリアを拡大していただきましたので、ありがとうございます。

◎議長（森岡 勉君） ほかに質疑ありませんか。1番、小谷委員。

○議員（1番 小谷 節雄君） はい。今の質疑にちょっと関連しますが、先行地域以外の言葉で言う1%活用基金という、ひとまず言いますが、事業を進める場合に先ほどの全協の中では、同等という言葉でですね全部要するに先行地域と同等の内容でということで確認をさせていただいたわけですが、その場合に実際事業を進めていく中で、基金事業とひとまず申し上げますが基金事業で対応出来ない規模になった場合の時にですね、事業量の制限をこれまでの私の理解はですね、事業量の制限はなされないというふうに理解をしてるんですが、その確認とその場合に事業費が不足した場合ですね、要するに基金の対応出来ないような事業量に仮に仮にですけどなった場合に、その場合は町が当然負担をするということになるかと思うんですが、その付近の考え方についてちょっと御説明をいただければと思います。

◎議長（森岡 勉君） 町長。

●町長（北口 俊朗君） はい。基金の活用ということになると思いますが、やはり今の段階では予算の範囲内と基金の範囲内ということになるかと思えます。もしそれに漏れたということになりますとやはり翌年の事業の受付というふうになるかと思えます。

◎議長（森岡 勉君） よろしいですか。はい、1番、小谷議員。

○議員（1番 小谷 節雄君） はい。もう1点別件でございます。モデル先行地域の申請の中で農業振興の部分が評価されたらバイオ炭とかですね、あるいは耕作放棄地等の対応についてもですね、評価をされたというふうな説明を聞いておるんですが、その部分につきましては、今後事業を進める場合にですね、事業の主体というか、責任というか、要するに、民間がされるということなんだろうが、町のスタンスとしてですね、どういうことをやっていくのか。要するにもう任せっきりという表現はちょっと不適當かもしれませんが、それで物事進まないような気もするんですが、その付近の要するに太陽光パネルとかですね、蓄電池の問題とちょっと置いといて、要するにバイオ炭と耕作放棄地パネルの問題になってきますけど、いろいろ私の理解で耕作放棄地のパネル設置も課題があるように聞いておりますので、そこ辺りを事業者任せっきりということはされなないと思っておりますが、町としてのスタンスをちょっと御説明いただければと思います。

◎議長（森岡 勉君） 荒川企画政策課長。

●企画政策課長（荒川 誠一君） ただいまの御質問ですがバイオ炭等ですね、事業につきましては、基本的に町の事業というふうなところで申請を行っているところです。ですので、この分につきましては、町の負担が出てくるものと思っております。あとですね、連携の関係ですけども、基本的にこの事業を推進するに当たってはですね、補助金等を活用させていただくというふうに考えておりますので、各省庁のですね関係する分野の補助金等を活用するというふうに考えているところです。また事業主体ですが、この分についてもですね今後、農林振興課とですね、協議をしながらどのように進めていくのか。このあたりも今後進めていきたいと思っております。

◎議長（森岡 勉君） 1番、小谷議員。

○議員（1番 小谷 節雄君） はい。バイオ炭に関しましては、すいません私が誤解をしたようですので今の課長の御説明でありますと町が事業主体と。その場合に今想定される部分ですね具体的なものが、どのような、要するに手法で、方法。何かもし具体的な想定というか、計画はありましたら、バイオ炭に限って結構でございますから、お願い出来ますか。

◎議長（森岡 勉君） 荒川企画政策課長。

●企画政策課長（荒川 誠一君） バイオ炭の件につきましては、これにつきましては、バイオ炭入りの堆肥を生産するというふうなところになっておるところです。これをですね農家のほうにお配りし、田ん中のほうに入れ込んでいただくというふうな形になります。現在こちらのほうで考えているところにつきましては、有機センターを活用いたしましてそちらのほうで炭のほうを混ぜていただくと。それを農家さんのほうに使用していただくというふうな形になると思います。ですので、若干手がかかっておりますので、堆肥等の単価も上がるということもありますので、そういったところをですね今後どういった価格にしていくのか。農家さんの負担をですね、できるだけ少なくするというふうな取組も必要かと思っておりますので、今後検討を進めていく中でですね、いろいろ今後、説明をさせていただければと思っております。

◎議長（森岡 勉君） ほかに質疑ありませんか。3番、難波議員。

○議員（3番 難波 文美さん） 3番、難波です。今回、9,000万円を超える交付金ということで、この地域を巻き込んだ脱炭素事業というのが展開されていくということなんですが、この

事業の方針の中でですね、屋根貸しをするというのがございました。特に教育施設、福祉施設そういうところの屋根を貸すということなんですが、屋根貸し事業あるいは発電業者がですね、当初の見込みと変わってきたりとかいろんな状況がこれから変化していく中で撤退する可能性もあると。そういう撤退リスクに備えた考え、そういうものは今お持ちなんですか。

◎議長（森岡 勉君） 荒川企画政策課長。

●企画政策課長（荒川 誠一君） はい。現在ですね、そこのですね、撤退に関することについては、現在ですね、そういった想定では考えていないところでございます。基本的には、この事業をですね、公募型で行うということで、その付近は間違いなく計画期間内はですね、事業を実施していただく企業、そちらのほうを選定する必要があると思っておりますので、そこについては、あまり現在のところ想定をしていないということになります。

◎議長（森岡 勉君） 3番、難波議員。

○議員（3番 難波 文美さん） はい。今はですねモデル地域を指定しているという段階ですので、そのようなお考えで進められていくのかなというのは理解しているんですが、こういう撤退に関するコストというのはですね、非常に大きなものになります。このように時代が非常に足早に変化しておりますし状況が変わっていくということは、やはり想定をしておかなければいけない。なので、そういう撤退コストを負担させるような、事業者がですね、そういう仕組みづくり、そういうものをですね、これから条例などではきちんと義務づけていくという考えも自治体としては非常に大切だと思いますので、その辺りのところをですね、今の事業と進めながらですね、一緒に早めに検討していただきたいと思います。

◎議長（森岡 勉君） 荒川企画政策課長。

●企画政策課長（荒川 誠一君） はい、ありがとうございます。その点につきましても協定書辺りをですね製作する時点で、撤退する場合のですね、撤去費用とにつきましてもですね、事業者負担というふうなところで明記をしていく必要があるかとただいま思いましたので、そちらのほうは是非明記をさせていただきたいというふうに考えております。

◎議長（森岡 勉君） ほかに質疑ありませんか。13番、溝口議員。

○議員（13番 溝口 峰男君） すいません。これまで随分と全協等で議論をしてきたわけでありまして、しかしながら本会議にはかけられたのが初めてで、町民の皆さん方もどこまで理解されているのかその辺は私も分かりませんが、復習の意味で確認をしておきたいと思いますが、これだけの大きな事業といいましても町民の皆さん方はお分かりないと思うんですが、具体的にどれだけの総事業になって、何年計画でですね、そして尚且つあさぎり町にとってどれだけの効果が出てくるのか。金銭面も含めて、あるいはCO2の削減の問題についても具体的に申請の段階で計画がなされておるとは思いますが、お答えいただければと思います。

◎議長（森岡 勉君） 暫時休憩します。

休憩 午前10時53分

再開 午前10時58分

◎議長（森岡 勉君） 休憩前に引き続き会議を再開いたします。荒川企画政策課長。

●企画政策課長（荒川 誠一君） はい、大変申し訳ありません。年間ですね先行地域のCO2の削減量になりますが、こちらのほうが、1,578トンを見込んでいるところでございます。事業費につきましては、約13億円というところで試算をしておるところでございます。

◎議長（森岡 勉君） よろしいですか。13番溝口議員。

○議員（13番 溝口 峰男君） はい。資料はですね、いただいているんですけども町の税収等も相当増えてくるのではないのかなと思います。そういったところについてが具体的にお示しいただければですね、この事業やってよかったなというふうな形になるのではないのかなと思いますので、その辺りもししっかりと御説明いただいたほうがよろしいかと思っておりますのでお答えいただきたいと思っております。

◎議長（森岡 勉君） 荒川企画政策課長。

●企画政策課長（荒川 誠一君） はい。申し訳ありません。税収につきましては固定資産税ですね、こちらの太陽光発電施設におきましてが、5,447万円というところで試算が出ております。また蓄電池、蓄電池につきましても、1,267万ということで、合計6,714万円の税収ということで、見込まれているところでございます。

◎議長（森岡 勉君） よろしいですか。質疑ありませんか。質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。これから討論を行います。討論ありませんか。ありませんか。1番、小谷議員。

○議員（1番 小谷 節雄君） はい、本案に関しまして賛成の立場で討論をさせていただきます。賛成という立場でございますが、ある部分非常に私も含めて同僚議員、今回のどの議案もですが、やっぱり悩む場面が多かったというのが少なくとも私は正直なところでございます。この場で申し上げたこと1点でございます。脱炭素、今、本町に限らず、日本に限らず、地球規模での問題であるという大きな命題の中での取組に関してですね、何ら異議を申し上げるところではないわけでございますが、昨年の11月ぐらいから計画づくりのお話等々を聞いておりました、我々は、ただ具体的な話として、2月の段階で今回の先行地域の提案を出したいというお話を聞きました、具体的な話はその時点では期間の問題等々でなかった。そして年度替わりの北口町長になられてから、この話が具体的に我々に説明が出てきたという形でございます。これいろんなスケジュール等の問題があったということは重々承知しておりますが、この件に限らず、ここ2年間ぐらいの中でですね、いろんな説明が、予算に付随しての説明とかそういう形でそれ以前のいろんな計画とか方針とかを出される段階でのですね、その段階で分かる話での説明がきちんとなされてきておればですね、なんかスムーズにいく話も結構いろんな場面で混乱することがここ最近多いというふうに私は感じております。ここでこの話をあえて持ち出しましたのは、こういった大きな話、大きなというか重要な案件として、基本ほぼ同意できるような事案に関しましてですね、その手順をやっぱりうまくやっていかれるとですね、スムーズにあるいは認識も共有できることが多いところがございます、そこにすれ違いが出たりとかいうことは感じまして、そもそもという言葉は大変失礼ですけど、これを1月2月の段階でそれなりのお話をきちんとしていただければですね、もっとスムーズにあるいはもしかするともっと内容がですね、詰められる話が充実したというか、前向きな形で進めることが出来たんじゃないかというようなことを私は今回思っております。

す。ただ1番最初申し上げましたように、この脱酸素ということであさぎり町が取り組むこと自体に関してですね、私は何ら異議を申し上げる部分でございませんのであと方法論とかそういう問題でございます。ぜひとも今後、この事業を進められることに関しましてもあるいは他のいろんな施策方針を示される場合でも、できる範囲で結構でございますから、早く私どもあるいは町民に向けてですね、そういった考え方を示していただくことをですね、お願いをして、こういった我々の表決に関しましてですね、条件をつけるということをご法度でございますので、条件をつけるという意味ではなくて、私の希望としてですね、そういったことをぜひ今後、取り組んでいただく、そういった姿勢をですね、やっていただくようお願いをししたいということをこの場で表明しまして、本案に関しましてはですね、是非前向きな形で進めていただくということで賛成をさせていただきたいと思っております。

◎議長（森岡 勉君） ほかに討論、反対の討論ございませんか。賛成は、討論ございませんか。
11番、皆越議員。

○議員（11番 皆越 てる子さん） はい、11番皆越です。1番議員が言われましたとおりですね、この最初の出足がですね、どうしても私には納得出来ませんでした。で、あさぎり町もですね、対等合併いたしました。そこでですね、先行地域をですね、指定するということは、ちょっと町民にとってですね、納得のいかないものじゃなかったかなと私も推測するわけでございます。これからですね、あさぎり町は一つ、町は一つというようなことで、執行部もですね、町民の立場になって事業を進めていただきたいと思います。

◎議長（森岡 勉君） 次に、賛成討論はございませんか。ございませんね。これで討論を終わります。

◎議長（森岡 勉君） これから議案第32号を採決します。本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。起立多数です。したがって、議案第32号は原案のとおり可決されました。

◎議長（森岡 勉君） お諮りします。本日の会議で議決の結果生じた条項、字句、数字、その他の整理を要するものについては、その整理を議長に委任されたいと思っております。御異議ありませんか。異議なしと認めます。したがって、条項、字句、数字、その他の整理を議長に委任することに決定しました。

◎議長（森岡 勉君） これで本日の日程は全部終了いたしました。会議を閉じます。令和5年度あさぎり町議会第8回会議を閉会します。

●議会事務局長（山本 祐二君） 御起立ください。礼。

午前11時07分 閉会

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和 5 年 12 月 6 日

議 長 森岡 勉

署名議員 永井 英治

署名議員 皆越 てる子